


平成30年度 NPO基盤強化支援事業 事業報告書

団体名	鉄輪愛耐会	
<p>1. 事業の内容及び今回の活動が地域課題の解決のためにどの様に役立つかについて記入してください。(チラシ等の印刷物がある場合は、それも添付してください)</p> <p>鉄輪愛耐会は、以下のローテーションを守り継続事業を行っています。</p> <p>①鉄輪の「見どころ」をマップで案内(優秀な俳句の紹介、句碑の場所も紹介)</p> <p>②町中に、俳句の投句筒を設置して定期的に集句し、四季に応じて優秀3句、佳作、子供句を選出して、機関誌で発表します。</p> <p>③選出句は、四季×優秀3句=12句を、鉄輪暦12カ月に配分してカレンダーを製作します。</p> <p>④出来上がった『鉄輪暦』は、有名書店その他の纏め置きのできる店に、置かせてもらい、その、売り上げを、回転資金として事業に還元させています。</p> <p>今回の、NPO(めじろん)支援の寄付金作りは、年々やり繰りが難しくなっていて行きつつあり、取り分け、従来、資金繰りに大きく貢献してきた、市からの助成金制度中止の、影響を、何とか緩和する、貴重な一石になりました。</p> <p>鉄輪愛耐会は、この事業が、鉄輪の湯の町文化をはぐくむ上で、貴重な取り組みであると自負し今後も必要である限り、継続して行かなければならないと考えています。</p>		
<p>2. 事業を実施している様子の分かる写真を4枚以上添付してください</p>		
	<p>今回の NPO 基盤強化事業のテーマとして、鉄輪暦の作成を選びました。左図は、出来上がった鉄輪暦の表紙で、写真は、年間最優秀句として選ばれた ‘小綬鶏の山へ傾くゆのけむり’ 片岡学氏(別府市)の句碑を鉄輪の大谷公園に記念として建立しています。</p>	



鉄輪暦内面（1月～12月）

写真は4月の暦で、季節に合った絵画にその期の優秀句（3句）を挿入して仕上げています。

優秀句に選ばれたら、暦に掲載されるという事が、俳句作者の励みになると、ファンが増えている。



愛耐会のメンバー 毎月ここで愛耐会会議を行っています。



毎年12月上旬～翌年1月中旬にかけて、別府市内の『まちなか交流館』を借り切って『鉄輪愛耐会展示会』を開催しています。中年の夫婦や、外国人にも、興味を持って貰えるようです。

3. 来年度以降、事業をどのように継続していくかについて記入してください。（活動を継続するための運営体制＜会員や住民団体等との連携を含む＞の強化や安定的な収入確保の方策について具体的に記入してください。）

鉄輪愛耐会今後の課題

- 1 各部門（俳句筒制作、鉄輪暦製作、マップ補修）各々の独立した収入源確保を考える。
- 2 若い人たちの、俳句への関心を高め、当事業への参加を促す。
- 3 寄付金集めを継続していきながら、当団体の理解者を増やしていく。